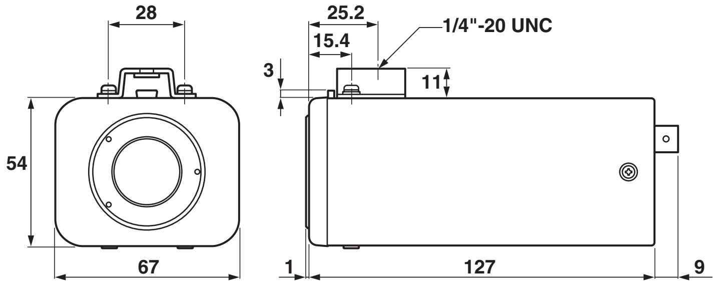
取扱説明書

SANYO

カラーCCDカメラ
品番 VCC-D482

■ 外形寸法図(単位:mm)



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

- このカメラはNTSCカラーテレビジョン方式に準じて設計されていますので、放送方式の異なるモニターテレビやビデオ機器などには接続できません。
- 本機は日本国内のみで使用できます。外国では、電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

仕様

テレビジョン方式	NTSCカラーテレビジョン方式準拠
走査方式	走査線数525本、2:1インターレス
撮像素子	1/3インチ　インターライン転送方式CCD
有効画素数(ピクセル)	768(水平)×494(垂直)
同期方式	内部同期
水平解像度	540TV本typical
カメラ出力端子(CAMERA OUT)	1.0V(p-p)/75Ω、BNC接栓
映像S/N比	48dB以上　※AGC OFF時、50dB以上
最低被写体照度	0.6lx (F1.2、カラーモード、ゲインノーマル時) 0.45lx(F1.2、カラーモード、ゲインハイ時) 0.02lx(F1.2、白黒モード、ゲインノーマル時) 0.01lx(F1.2、白黒モード、ゲインハイ時)
オートアイリス制御	DCタイプ(DCレベル可変)、4ピン端子
レンズマウント	CSマウント
フランジバック	12.5mm(調整範囲±0.5mm)
フリッカー補正	切/入
アイリス設定	オートアイリス/電子アイリス
カラー白黒切り替え照度設定	高/低
感度設定	標準/高
輪郭補正	標準/鮮明
逆光補正	切/中央重点測光/多分割評価測光
ホワイトバランス	自動(ATW)/手動
使用条件(通電時)	温度:-10℃～+50℃、湿度:90%RH以下
保存条件	温度:-20℃～+60℃、湿度:70%RH以下
使用電源	AC24V±10%、50/60Hz DC12～15V
消費電力	約3.7W
質量	約400g

- 外観および仕様は、お断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。

1AC6P1P3359--
L5BG2/JP(0708HS-HS)

PRINTED WITH SOY INK
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前にもう一度、次の項目にしたがって点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ販売店または、工事店に設定調整をご依頼ください。

こんなとき		点検するところ
画像が出ない	カメラ	• 同軸ケーブルは確実に接続されていますか？ • 照明は適正ですか？ • カメラ調整・設定部にあるレンズのアイリス調整(LEVEL)は正しく調整されていますか？ • 逆光補正(BLC)は正しく設定されていますか？ • レンズキャップははずしていますか？ • 電源は入っていますか？
画像がはっきりしない	カメラ	• レンズのピントは合っていますか？ • フランジバック調整は合っていますか？ • レンズが汚れていませんか？ レンズにほこりや指紋が付くと映りが悪くなります。市販のレンズクリーニングペーパーとクリーニング液を使用し、軽くふき取ってください。
	モニターテレビ	正しく調整されていますか？

修理を依頼されるときは、必ず電源を切ってから下記の事項をお買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

①故障の状況(できるだけ詳しく)
②品番：VCC-D482
③製造番号(保証書に記入)
④お買い上げ年月日
⑤お買い上げ店名
⑥お名前、おところ、電話番号

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。保証書は販売店または工事店でお渡しいたします。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から１年間です

- 保証書記載内容により、お買い上げ販売店(工事店)が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機が故障した場合の営業損失は保証対象外になります。
- 当社は、本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、８年保有しています。また、販売店(工事店)からの注文により、補修用性能部品を販売店(工事店)に供給します。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店(工事店)にお問い合せください。

修理相談窓口

三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日～金曜日		９：00 ～ 18：30
	(７月～８月	８：45 ～ 19：30)
	土曜・日曜・祝日・当社休日	９：00 ～ 17：30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

◆ 東コールセンター

関東・甲信越地区	☎ 050－3116－2222 ☎ 東京(03)5302－3401
北海道地区	☎ 050－3116－2333
東北地区	☎ 050－3116－2444

◆ 西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	☎ 050－3116－2555 ☎ 大阪(06)4250－8400
中部地区	☎ 050－3116－2666
中国地区	☎ 050－3116－2777
九州地区	☎ 050－3116－2888

沖縄地区	☎ 沖縄(098)944－5018

受付時間：月曜日～土曜日(日曜、祝日および当社休日を除く)
9:00～17:30

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

・お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

・上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、
ホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせなどのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　　)　　ー

三洋電機販売株式会社
営業本部
企画統括部 システム商品企画部
〒110-8534　東京都台東区上野1丁目1番10号　☎東京(03)6364-3463
三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー
ＤＩ事業部　ＤＳ商品部
〒574-8534　大阪府大東市三洋町１番１号　☎大東(072)870-6277

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。その表示と意味は次のようになっています。
次の内容(表示・図記号)をよくご理解いただいたうえで本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■図表示の例

△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。

水ぬれ禁止
⃠の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。

ACアダプターをコンセントから抜け
●の記号は、しなければならない行為を示しています。

⚠ 警告 万一の場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのままご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜け

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ キャビネットをはずしたり、改造しない

内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。
分解禁止

■ 雷が鳴り出したら使わない

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。
接触禁止

■ ぬらさない

本機は防水構造になっていませんので、風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
水ぬれ禁止　水場での使用禁止

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

■ 電源コードを傷つけない

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

禁　止

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- 台所や湿度の高い部屋、結露しやすいところ、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。ほこりにより、ショートや発熱が起こります。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

禁　止

■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま、または電源コードを束ねたまま使用しないでください。発熱が起こります。

禁　止

■ 内部に異物を入れない

禁　止

⚠ 注意 以下の記載事項を守らないと火災や、感電、故障の原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する

足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、行ってください。
電源プラグをコンセントから抜け

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ キャビネットのお手入れとご注意

お手入れのしかた

電源プラグからコンセントを抜き、柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…
水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ 長時間使用しないときは

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

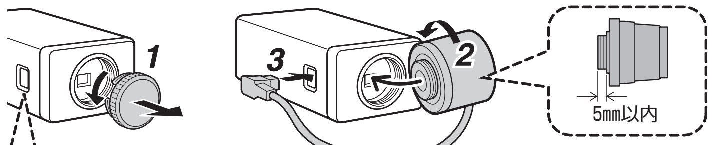
■ 内部の掃除について

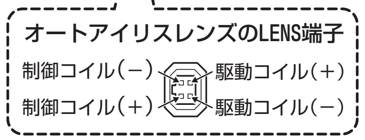
機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。

接続と設定/調整

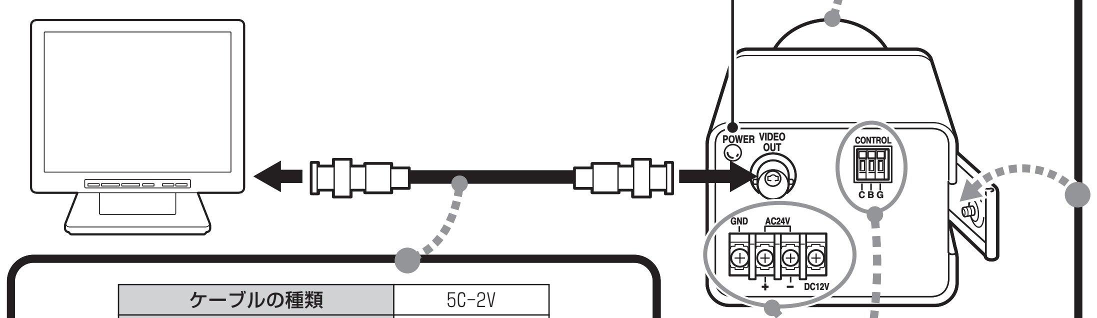
全ての接続が完了するまで、電源を入れないでください。

■レンズの取り付け




オートアイリスレンズのLENS端子
制御コイル(－)
駆動コイル(＋)
制御コイル(＋)
駆動コイル(－)

- Cマウントレンズをご使用の場合は、市販の変換リングを取り付けてください。
- レンズの種類によってレンズプラグの形状が合わないことがあります。その場合はお買い上げ販売店(工事店)にお問い合わせください。


POWERランプ
POWER
VIDEO OUT
CONTROL
C B G
GND
AC24V
＋
－
DC12V

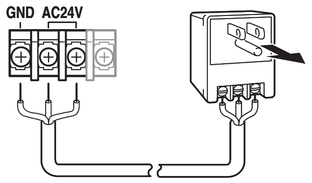
ケーブルの種類	5C-2V
ケーブルの最長使用距離	約500m

- 使用するケーブルが上記と異なると、映像や同期信号が減衰して正しく伝送されません。
- 接続する機器間の距離が短い場合は3C-2V同軸ケーブルも使えますが、配管や空中配線には使わないでください。

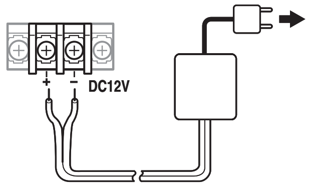
■電源を接続する

接続には18AWGより太いケーブルをご使用ください。

〈AC24Vの場合〉



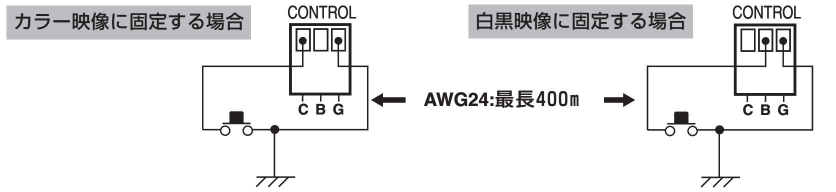
〈DC12Vの場合〉



極性+/-が正しいことを確認してください。

■ハンチングが起こる場合(CONTROL端子)

近赤外線照明をご使用の場合などは、デイナイト機能が正常にはたらかないためハンチング(画像が明るくなったり暗くなったりを繰り返し、一定の明るさで安定しない状態)が起こることがあります。その場合は、下図のように外部スイッチと接続してカラーまたは白黒映像に固定してください。


カラー映像に固定する場合
CONTROL
C B G
AWG24:最長400m
白黒映像に固定する場合
CONTROL
C B G

デイナイト機能によってカラー映像と白黒映像が切り替わっている最中は、外部スイッチで切り替え操作を行なうことはできません。

■カメラの取り付け

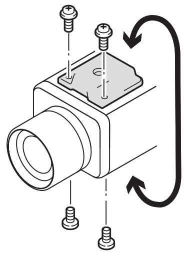
カメラを取り付けるときはネジをしっかり固定できるかどうかをご確認ください。石膏ボードなどは強度が十分ではないので、補強板を使用するなどしてネジをしっかり固定してください。

- 照明など最大被写体照度を超える明るさの被写体を監視すると、スミア(高輝度の被写体の上下、垂直方向に帯状の線が出る現象)が発生します。モニターを見ながら照明の角度などを調整してください。
- カメラ取付台(市販品)は、カメラ本体と取付台の総重量を考慮して適切なタイプを選び、耐久性のある場所にしっかりと固定してください。

設置場所の注意

- 湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所に設置すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに設置すると、事故、故障の原因となることがあります。

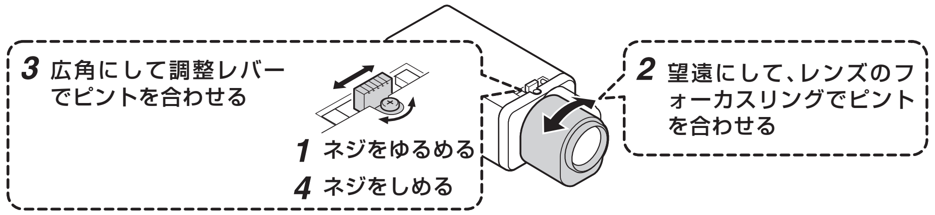
ブラケットは必要に応じて上下に付け替えることができます。



ブラケットの取り付けには、必ず長い方のネジをご使用ください。

■フランジバックの調整

通常は調整の必要はありません。ズームレンズ使用時にピントがずれる場合は下記の手順でフランジバックを調整してください。



3 広角にして調整レバーでピントを合わせる

1 ネジをゆるめる

4 ネジをしめる

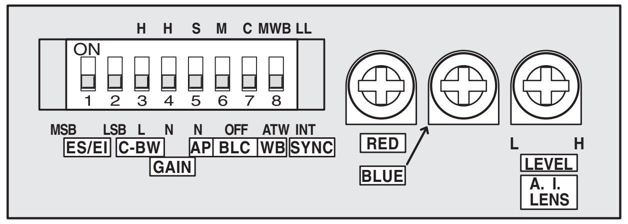
2 望遠にして、レンズのフォーカスリングでピントを合わせる

広角から望遠に変えてもピントのずれがなくなるまでステップ2、3を繰り返す。

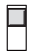
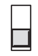
■カメラの設定・調整

このカメラは市販のDCタイプ・オートアイリスレンズを取り付けるだけで使用できるよう出荷時に調整されています。使用条件によっては適正でない場合がありますので、必要に応じて設定・調整を行なってください。

- うまく調整できない場合は、お買い上げ販売店(工事店)にご相談ください。

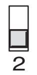
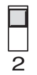

H H S M C MWB LL
ON
1 2 3 4 5 6 7 8
MSB LSB L N N OFF ATW INT
ES/EI
C-BW
GAIN
AP
BLC
WB
SYNC
RED
BLUE
L H
LEVEL
A. I. LENS

<ES/EI> フリッカー補正

入 東日本地方(電源周波数50Hz)などの蛍光灯照明下でちらつきを補正します	**切**
 1	 1

アイリス設定が電子アイリスの場合は、フリッカー補正ははたらきません。

<ES/EI> アイリス設定

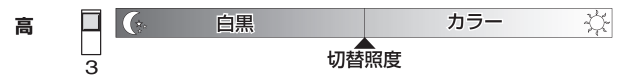
オートアイリス	電子アイリス(屋内使用)
 2	 2

- 電子アイリス設定時、レンズの絞りは開放(最小F値)にしてください。
- 蛍光灯照明下で電子アイリス(固定またはマニュアルアイリスレンズ)を使用すると映像がちらつくことがあります。
- オートアイリスレンズ使用時に画面全体が暗すぎたり明るすぎたりする場合は、LEVELダイヤルで調整してください。

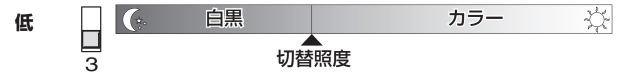
<C-BW> デイナイト機能切り替え照度設定

カラー映像と白黒映像を自動で切り替えるタイミングを設定します。

●明るい状態でカラー映像と白黒映像を自動で切り替えます。

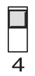
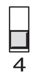

高
3
白黒
カラー
切替照度

●暗い状態でカラー映像と白黒映像を自動で切り替えます。


低
3
白黒
カラー
切替照度

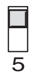
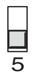
- 電源を入れたときはいつもカラー映像が表示されます。
- カラー映像と白黒映像が切り替わるとき、光学フィルターが移動する音が聞こえたり、黒い垂直の帯が画面を横切りますが故障ではありません。
- 近赤外線照明を使用しているときに白黒映像の場合、被写体が強く反射するとカラー映像に切り替わることがあります。カラー映像への切り替えを避けるためには、照明を調整してください。
- カラー映像と白黒映像でピントが合う位置が異なる場合があります。両方の映像でピントが最適になるよう調整するか、デイナイト対応のレンズをご使用ください。

<GAIN> 感度設定(ゲインコントロール)

高感度* 照度が低いときに電子感度を上げて明るい映像にします。	**標準感度**
 4	 4

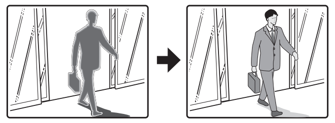
*高感度に設定すると、ノイズが目立ったり、画像が粗くなったりします。

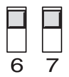
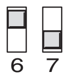
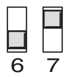
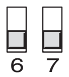
<AP> 輪郭補正

はっきりした輪郭	標準輪郭
 5	 5

<BLC> 逆光補正

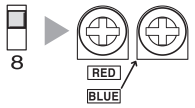
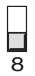
オートアイリスレンズ使用時のみ有効です。



多分割評価測光* 画面全体を逆光補正します		**中央重点測光** 画面の中央部分を逆光補正します	**切**
高	**標準**		
 6 7	 6 7	 6 7	 6 7

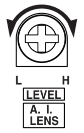
*被写体の背景が極端に暗い場合は、中央重点測光に設定してください。

<WB> ホワイトバランス

手動	自動
 8 右に回すとそれぞれの色味が増します。 RED=赤、BLUE=青	 8

<LEVEL> レンズアイリス調整

オートアイリスレンズ使用時、画面全体が明るすぎる場合や暗すぎる場合に調整します。


L H
LEVEL
A. I. LENS

L
(暗くします)

H
(明るくします)